

■当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／その他資産（バンクローン）
信託期間	2018年4月24日から2022年7月8日まで
運用方針	連動債券への投資を通じて、主として欧州通貨建てのバンクローン等に実質的に投資することで、信託財産の成長を目指して運用を行います。
主要投資対象	欧州通貨建てのバンクローン等
当ファンドの運用方法	<p>■主として欧州通貨建てのバンクローン等に実質的に投資します。</p> <p>■バンクローン等への実質的な投資は、ルクセンブルグ籍外国投資信託「インベスコ・ゾディアック・ファンズーインベスコ・ヨーロッパ・シニアローン・ファンド」（以下、「連動対象ファンド」といいます。）の投資成果を反映する仕組みの円建て債券（以下、「連動債券」といいます。）を通じて行います。</p> <p>■連動債券への投資比率は、原則として高位に維持します。</p> <p>■バンクローン等の実質的な運用は、インベスコ・シニア・セキュアード・マネジメント・インクが行います。</p> <p>■連動対象ファンドを対円で為替ヘッジしない場合の投資成果を反映した連動債券に投資するため、為替変動による影響を受けます。</p>
組入制限	<p>■株式への投資は行いません。</p> <p>■外貨建資産への投資割合には制限を設けません。</p>
分配方針	<p>■毎月21日（休業日の場合は翌営業日）に決算を行い、分配を行います。</p> <p>■分配対象額は、経費控除後の利子、配当等収益と売買益（評価損益を含みます。）等の範囲内とします。</p> <p>■分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。</p> <p>※委託会社の判断により分配を行わない場合もあるため、将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。</p>

# 欧州バンクローン・オープン （為替ヘッジなし）

【繰上償還 運用報告書(全体版)】

第9作成期（2022年4月22日から2022年7月8日まで）

第 **49** 期 / 第 **50** 期 / 第 **51** 期  
決算日2022年5月23日 決算日2022年6月21日 償還日2022年7月8日

## 受益者の皆さまへ

平素は格別のお引立てに預かり、厚くお礼申し上げます。

当ファンドは連動債券への投資を通じて、主として欧州通貨建てのバンクローン等に実質的に投資することで、信託財産の成長を目指して運用を行いました。ここに当作成期の運用状況等をご報告いたします。

皆さまのご愛顧ありがとうございました。

## 三井住友DSアセットマネジメント

〒105-6426 東京都港区虎ノ門1-17-1  
<https://www.smd-am.co.jp>

■口座残高など、お取引状況についてのお問い合わせ

お取引のある販売会社へお問い合わせください。

■当運用報告書についてのお問い合わせ

コールセンター 0120-88-2976  
受付時間：午前9時～午後5時(土、日、祝・休日を除く)

## 欧州バンクローン・オープン（為替ヘッジなし）

原則として、各表の数量および金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しています。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。

### ■ 最近30期の運用実績

決 算 期	基 準 (分配落)	価 額			公 社 債 率 組 入 比 率	純 資 産 額
		税 分 配	込 金	期 騰 落 中 率		
25期 (2020年5月21日)	円 7,731	円 10	% 3.6	% 94.8	百万円 467	
26期 (2020年6月22日)	8,365	10	8.3	95.8	501	
27期 (2020年7月21日)	8,524	10	2.0	95.7	511	
28期 (2020年8月21日)	8,838	10	3.8	98.3	516	
29期 (2020年9月23日)	8,764	10	△0.7	98.4	510	
30期 (2020年10月21日)	8,815	10	0.7	99.2	508	
31期 (2020年11月24日)	8,976	10	1.9	97.6	499	
32期 (2020年12月21日)	9,355	10	4.3	93.8	512	
33期 (2021年1月21日)	9,479	10	1.4	94.2	516	
34期 (2021年2月22日)	9,676	10	2.2	95.1	522	
35期 (2021年3月22日)	9,889	10	2.3	93.6	482	
36期 (2021年4月21日)	9,921	10	0.4	94.1	480	
37期 (2021年5月21日)	10,176	10	2.7	94.3	381	
38期 (2021年6月21日)	10,170	10	0.0	94.3	379	
39期 (2021年7月21日)	9,974	10	△1.8	92.6	348	
40期 (2021年8月23日)	9,932	10	△0.3	94.2	340	
41期 (2021年9月21日)	10,091	10	1.7	98.6	329	
42期 (2021年10月21日)	10,337	10	2.5	92.1	330	
43期 (2021年11月22日)	10,115	10	△2.1	94.4	314	
44期 (2021年12月21日)	9,969	10	△1.3	93.8	311	
45期 (2022年1月21日)	10,135	10	1.8	95.0	311	
46期 (2022年2月21日)	10,127	10	0.0	94.7	311	
47期 (2022年3月22日)	10,008	10	△1.1	89.6	294	
48期 (2022年4月21日)	10,544	10	5.5	91.2	274	
49期 (2022年5月23日)	9,925	10	△5.8	92.1	253	
50期 (2022年6月21日)	9,940	10	0.3	—	233	
(償 還 日)	(償還価額)					
51期 (2022年7月8日)	9,933.45	0	△0.1	—	233	

※基準価額の騰落率は分配金込み。

※当ファンドの運用方針に対し適切に比較できる指数がないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。

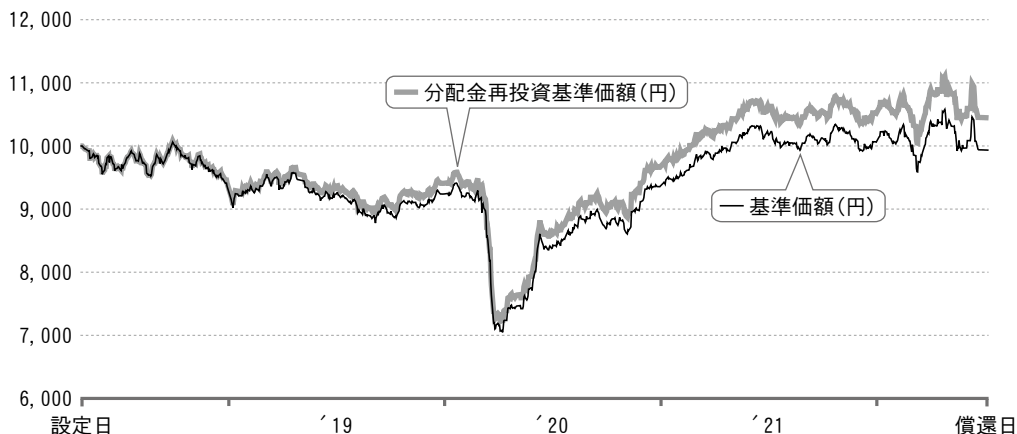
■ 当作成期中の基準価額と市況等の推移

決算期	年 月 日	基 準	価 額		公 社 比 債 率
			騰 落 率	率	
第49期	(期 首) 2022年 4 月21日	円		%	%
	4 月末	10,544	—		91.2
	(期 末) 2022年 5 月23日	10,273	△2.6		92.6
第50期	(期 末) 2022年 5 月23日	9,935	△5.8		92.1
	(期 首) 2022年 5 月23日	9,925	—		92.1
	5 月末	9,966	0.4		94.1
第51期	(期 末) 2022年 6 月21日	9,950	0.3		—
	(期 首) 2022年 6 月21日	9,940	—		—
	6 月末	9,937	△0.0		—
	(償 還 日) 2022年 7 月 8 日	(償還価額) 9,933.45	△0.1		—

※期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

設定以来の運用状況(設定日(2018年4月24日)から償還日(2022年7月8日)まで)

設定以来の基準価額の推移



前作成期までの運用の概略(設定日(2018年4月24日)から第8作成期末(2022年4月21日)まで)

当ファンドは、連動債券(為替ヘッジなし)への投資を通じて、主として欧州通貨建てのバンクローン等に実質的に投資を行いました。

上昇要因	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 欧州経済や企業業績が堅調に推移した局面や「コロナショック」からの回復の局面で、投資をしているバンクローン価格が上昇したこと</li> <li>・ バンクローン資産からの相対的に高いインカムゲイン(利息収入)を安定的に享受したこと</li> <li>・ 概ね円安・ユーロ高で推移したこと</li> </ul>
下落要因	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 2018年に米中貿易摩擦が悪化し世界経済への影響が懸念された局面で、投資をしているバンクローン価格が下落したこと</li> <li>・ 新型コロナウイルスの感染拡大やロシアのウクライナ侵攻などから投資家のセンチメント(心理)が悪化したこと</li> </ul> <p>2020年3月に新型コロナウイルスによる感染が拡大して世界経済への影響が懸念された局面や、2022年2月にロシア軍が突如ウクライナに侵攻した局面などで投資家のセンチメントが悪化しました。また、これらに関連して、サプライチェーン(供給網)の混乱やエネルギー価格の高騰などでインフレ率が高止まりし、それを受けた欧米の中央銀行による金融引き締めが経済や企業業績に与える影響が懸念されました。</p>

# 1 運用経過

基準価額等の推移について（2022年4月22日から2022年7月8日まで）

## 基準価額等の推移



※分配金再投資基準価額は、作成期首の値が基準価額と同一となるように指数化しています。

作成期首	10,544円
償還日	9,933円45銭 (当作成期既払分配金20円(税引前))
騰落率	-5.6% (分配金再投資ベース)

## 分配金再投資基準価額について

分配金再投資基準価額は分配金(税引前)を分配時に再投資したと仮定して計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示します。

※分配金を再投資するかどうかについては、受益者の皆さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額などによって課税条件も異なります。したがって、受益者の皆さまの損益の状況を示すものではありません。(以下、同じ)

※当ファンドの運用方針に対し適切に比較できる指数がないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。

基準価額の主な変動要因（2022年4月22日から2022年7月8日まで）

当ファンドは、連動債券（為替ヘッジなし）への投資を通じて、主として欧州通貨建てのバンクローン等に実質的に投資を行いました。6月に入り、ファンドの償還に向けて連動債券を全て売却しました。

上昇要因

- 主に投資をしているバンクローン資産からの相対的に高いインカムゲインを安定的に享受したこと

下落要因

- 欧米の利上げ加速懸念や地政学リスクなどから投資家がリスクに対して慎重になったこと  
「コロナショック」後のサプライチェーンの混乱やウクライナ紛争の勃発によるエネルギー価格の高騰でインフレ率が高止まりし、欧米の中央銀行の利上げが加速する懸念や、ウクライナ侵攻に伴う地政学リスクの継続などによって、投資家がリスクに対して慎重になる局面がありました。

投資環境について（2022年4月22日から2022年7月8日まで）

期間におけるバンクローン市場は、下落しました。また、為替市場ではユーロは円に対してほぼ横ばいとなりました。

### バンクローン市場

期間を通じてみると、バンクローン市場は、下落しました。

2月に突如始まったウクライナ紛争が長く気配をみせる中で、インフレ抑制のためにF R B（米連邦準備制度理事会）が本格的な金融引き締めに入り、またE C B（欧州中央銀行）も近い将来の利上げに言及したことで、欧米の株式や長期金利は大きく変動しました。

そのような環境下、有担保で変動金利であるバンクローン市場は、相対的に高いインカムを継続的に享受したものの、景気後退に対する投資家の不安などからセンチメントが悪化し、マイナスのリターンとなりました。

### 為替市場

期間を通じてみると、ユーロは円に対して一進一退となりました。

日本銀行が金融緩和姿勢を維持する一方で、E C Bは利上げ開始の意向を示すなど金融政策の方向性の違いがユーロ高要因となりました。しかし、欧州において金融引き締めによる景気後退に対する懸念が台頭したことなどがユーロ安要因となり、ユーロ円は一進一退となりました。

ポートフォリオについて（2022年4月22日から2022年7月8日まで）

## 当ファンド

バンクローン等への実質的な投資は、ルクセンブルグ籍外国投資信託「インベスコ・ゾディアック・ファンズーインベスコ・ヨーロピアン・シニアローン・ファンド」（連動対象ファンド）の投資成果を反映する仕組みの円建て債券（連動債券）を通じて行いました。7月8日の繰上償還にあたり6月中に保有の連動債券を全て売却しました。

## インベスコ・ゾディアック・ファンズー インベスコ・ヨーロピアン・シニア ローン・ファンド（連動対象ファンド）

主として欧州通貨建てのバンクローンへの実質的な投資を高位に保つ運用を行いました。

個別銘柄選択では、業績不振が見込まれる銘柄や、信用力に問題のある銘柄への投資を抑制しながら、第一抵当権を有する債務を中心に投資し、格付け別では「B」格への配分を高位に保ちました。

業種別では、リスク調整後の相対価値を勘案し、市場対比でレジャー、宿泊・カジノ、金融などに関連する銘柄への配分を高位とした一方、ヘルスケア、化学、エレクトロニクスなどに関連する銘柄への配分を低位としました。

ベンチマークとの差異について（2022年4月22日から2022年7月8日まで）

ベンチマークおよび参考指数を設けていませんので、この項目に記載する事項はありません。



## 分配金について（2022年4月22日から2022年7月8日まで）

期間の1万口当たりの分配金（税引前）は、基準価額水準等を勘案し、以下の通りといたしました。

留保益につきましては、運用の基本方針に基づき運用いたしました。

なお、第51期については、償還のため該当事項はございません。

（単位：円、1万口当たり、税引前）

項目	第49期	第50期
当期分配金	10	10
（対基準価額比率）	（0.10%）	（0.10%）
当期の収益	10	10
当期の収益以外	－	－
翌期繰越分配対象額	1,136	1,156

※単位未満を切り捨てているため、「当期の収益」と「当期の収益以外」の合計が「当期分配金」と一致しない場合があります。

※「対基準価額比率」は、「当期分配金」（税引前）の期末基準価額（分配金（税引前）込み）に対する比率で、当ファンドの収益率とは異なります。

## 2 今後の運用方針

償還のため、該当事項はございません。

## 3 お知らせ

### 約款変更について

該当事項はございません。

## 欧州バンクローン・オープン（為替ヘッジなし）

### 1万口当たりの費用明細（2022年4月22日から2022年7月8日まで）

項 目	金額	比率	項目の概要
<b>(a) 信 託 報 酬</b>	<b>22円</b>	<b>0.218%</b>	<b>信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率×(経過日数／年日数)</b> 期中の平均基準価額は10,088円です。
（投 信 会 社）	(7)	(0.071)	投信会社:ファンド運用の指図等の対価
（販 売 会 社）	(14)	(0.141)	販売会社:交付運用報告書等各種資料の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受 託 会 社）	(1)	(0.006)	受託会社:ファンド財産の保管および管理、投信会社からの指図の実行等の対価
<b>(b) 売買委託手数料</b>	<b>－</b>	<b>－</b>	<b>売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数</b> 売買委託手数料:有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
（株 式）	(－)	(－)	
（先物・オプション）	(－)	(－)	
（投資信託証券）	(－)	(－)	
<b>(c) 有価証券取引税</b>	<b>－</b>	<b>－</b>	<b>有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数</b> 有価証券取引税:有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
（株 式）	(－)	(－)	
（公 社 債）	(－)	(－)	
（投資信託証券）	(－)	(－)	
<b>(d) そ の 他 費 用</b>	<b>1</b>	<b>0.013</b>	<b>その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数</b> 保管費用:海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送付金・資産の移転等に要する費用 監査費用:監査法人に支払うファンドの監査費用 そ の 他:信託事務の処理等に要するその他費用
（保 管 費 用）	(1)	(0.013)	
（監 査 費 用）	(0)	(0.000)	
（そ の 他）	(0)	(0.000)	
<b>合 計</b>	<b>23</b>	<b>0.231</b>	

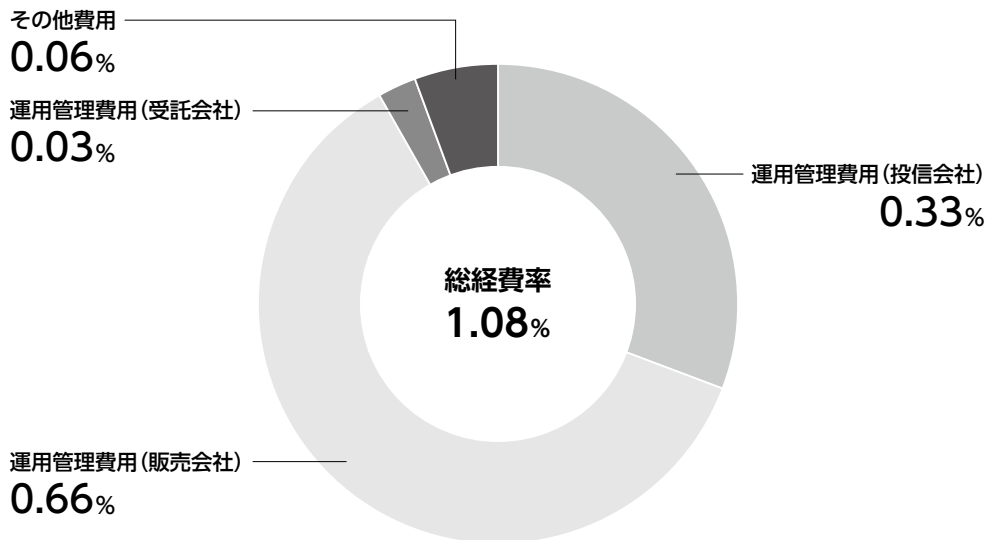
※期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出しています。

※比率欄は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

※各項目毎に円未満は四捨五入しています。



## 参考情報 総経費率（年率換算）



※各費用は、前掲「1万口当たりの費用明細」において用いた簡便法により算出したもので、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

※各比率は、年率換算した値(小数点以下第2位未満を四捨五入)です。

※上記の前提条件で算出しているため、「1万口当たりの費用明細」の各比率とは、値が異なる場合があります。なお、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額(原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。)を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額(1口当たり)を乗じた数で除した総経費率(年率換算)は1.08%です。

■ 当作成期中の売買及び取引の状況（2022年4月22日から2022年7月8日まで）

公社債

		当 作 成 期	
		買 付 額	売 付 額
国内	社 債 券	千円 -	千円 234,028

※金額は受渡し代金。（経過利子分は含まれておりません。）

※社債券には新株予約権付社債（転換社債）は含まれておりません。

■ 利害関係人との取引状況等（2022年4月22日から2022年7月8日まで）

当作成期中における利害関係人との取引等はありません。

※利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

■ 第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況  
（2022年4月22日から2022年7月8日まで）

該当事項はございません。また委託会社に売買委託手数料は支払われておりません。

■ 組入れ資産の明細（2022年7月8日現在）

償還日現在の組入れはありません。

■ 投資信託財産の構成

（2022年7月8日現在）

項 目	作 成 期 末	
	評 価 額	比 率
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	千円 233,607	% 100.0
投 資 信 託 財 産 総 額	233,607	100.0

## ■ 資産、負債、元本及び償還価額の状況

(2022年5月23日) (2022年6月21日) (2022年7月8日)

項 目	第 49 期 末	第 50 期 末	償 還 時
<b>(A) 資 産</b>	<b>254,402,830円</b>	<b>238,767,733円</b>	<b>233,607,006円</b>
コール・ローン等	20,338,830	238,728,691	233,607,006
公 社 債(評価額)	233,740,000	—	—
その他未収収益	324,000	39,042	—
<b>(B) 負 債</b>	<b>493,398</b>	<b>5,191,443</b>	<b>117,752</b>
未払収益分配金	255,823	234,995	—
未 払 解 約 金	—	4,756,193	—
未 払 信 託 報 酬	235,144	200,213	117,191
未 払 利 息	—	—	198
その他未払費用	2,431	42	363
<b>(C) 純資産総額(A-B)</b>	<b>253,909,432</b>	<b>233,576,290</b>	<b>233,489,254</b>
元 本	255,823,158	234,995,026	235,053,598
次期繰越損益金	△ 1,913,726	△ 1,418,736	—
償還差損益金	—	—	△ 1,564,344
<b>(D) 受 益 権 総 口 数</b>	<b>255,823,158口</b>	<b>234,995,026口</b>	<b>235,053,598口</b>
1万口当たり基準価額(C/D)	<b>9,925円</b>	<b>9,940円</b>	—
1万口当たり償還価額(C/D)	—	—	<b>9,933円45銭</b>

※当作成期における作成期首元本額260,142,468円、作成期中追加設定元本額242,020円、作成期中一部解約元本額25,330,890円です。

※上記表中の次期繰越損益金および償還差損益金がマイナス表示の場合は、当該金額が投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第10号に規定する額（元本の欠損）となります。

※上記表中の受益権総口数および1万口当たり基準価額または償還価額が、投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第7号および第11号に規定する受益権の総数および計算口数当たりの純資産の額となります。

## 欧州バンクローン・オープン（為替ヘッジなし）

### ■ 損益の状況

〔自2022年4月22日〕
〔自2022年5月24日〕
〔自2022年6月22日〕  
至2022年5月23日〕
至2022年6月21日〕
至2022年7月8日〕

項 目	第 49 期	第 50 期	第 51 期
<b>(A) 配 当 等 収 益</b>	1,058,751円	921,882円	△ 4,627円
受 取 利 息	1,040,000	903,970	469
そ の 他 収 益 金	19,170	18,871	-
支 払 利 息	△ 419	△ 959	△ 5,096
<b>(B) 有 価 証 券 売 買 損 益</b>	△16,400,410	△ 141,480	-
売 買 益	5,590	609,626	-
売 買 損	△16,406,000	△ 751,106	-
<b>(C) 信 託 報 酬 等</b>	△ 237,586	△ 206,222	△ 140,630
<b>(D) 当 期 損 益 金 (A + B + C)</b>	△15,579,245	574,180	△ 145,257
<b>(E) 前 期 繰 越 損 益 金</b>	22,930,264	6,515,509	6,854,385
<b>(F) 追 加 信 託 差 損 益 金</b>	△ 9,008,922	△ 8,273,430	△ 8,273,472
(配当等相当額)	( 4,203,743)	( 3,868,559)	( 3,876,386)
(売買損益相当額)	(△13,212,665)	(△12,141,989)	(△12,149,858)
<b>(G) 合 計 (D + E + F)</b>	△ 1,657,903	△ 1,183,741	△ 1,564,344
<b>(H) 収 益 分 配 金</b>	△ 255,823	△ 234,995	-
次 期 繰 越 損 益 金 (G + H)	△ 1,913,726	△ 1,418,736	-
追 加 信 託 差 損 益 金	△ 9,008,922	△ 8,273,430	-
(配当等相当額)	( 4,203,743)	( 3,868,559)	( - )
(売買損益相当額)	(△13,212,665)	(△12,141,989)	( - )
償 還 差 損 益 金	-	-	△ 1,564,344
分 配 準 備 積 立 金	24,858,142	23,307,871	-
繰 越 損 益 金	△17,762,946	△16,453,177	-

※有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。

※株式投信の信託報酬等には消費税等相当額が含まれており、公社債投信には内訳の一部に消費税等相当額が含まれています。

※追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

※分配金の計算過程は以下の通りです。

	第 49 期	第 50 期
(a) 経費控除後の配当等収益	821,165円	715,660円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0
(c) 収益調整金	4,203,743	3,868,559
(d) 分配準備積立金	24,292,800	22,827,206
(e) 当期分配対象額(a+b+c+d)	29,317,708	27,411,425
1万口当たり当期分配対象額	1,146.01	1,166.47
(f) 分配金	255,823	234,995
1万口当たり分配金	10	10

欧州バンクローン・オープン（為替ヘッジなし）

■ 投資信託財産運用総括表

信託期間	投資信託契約締結日	2018年4月24日		投資信託契約終了時の状況	
	投資信託契約終了日	2022年7月8日		資産総額	233,607,006円
区分	投資信託契約締結当初	投資信託契約終了時	差引増減又は追加信託	負債総額	117,752円
受益権口数	65,310,200口	235,053,598口	169,743,398口	純資産総額	233,489,254円
元本額	65,310,200円	235,053,598円	169,743,398円	受益権口数	235,053,598口
				1万口当たり償還金	9,933円45銭
毎計算期末の状況					
計算期	元本額	純資産総額	基準価額	1万口当たり分配金	
				金額	分配率
	円	円	円	円	%
第1期	292,313,071	287,899,588	9,849	0	0.00
第2期	623,159,573	598,712,056	9,608	0	0.00
第3期	743,613,363	734,169,696	9,873	0	0.00
第4期	863,493,303	822,172,758	9,521	10	0.10
第5期	871,232,990	862,888,071	9,904	10	0.10
第6期	860,783,893	843,619,050	9,801	10	0.10
第7期	1,158,001,976	1,122,246,836	9,691	10	0.10
第8期	1,198,468,045	1,135,681,893	9,476	10	0.10
第9期	1,112,381,302	1,024,348,920	9,209	10	0.10
第10期	1,066,960,341	996,247,308	9,337	10	0.10
第11期	961,079,335	913,729,904	9,507	10	0.10
第12期	955,428,844	914,089,690	9,567	10	0.10
第13期	811,880,453	751,898,434	9,261	10	0.10
第14期	809,867,782	742,831,208	9,172	10	0.10
第15期	811,255,633	739,369,587	9,114	10	0.10
第16期	826,756,999	736,502,372	8,908	10	0.10
第17期	816,759,335	734,933,412	8,998	10	0.10
第18期	792,781,832	722,668,934	9,116	10	0.10
第19期	750,878,002	680,759,344	9,066	10	0.10
第20期	693,471,923	641,093,829	9,245	10	0.10
第21期	676,323,152	635,849,645	9,402	10	0.10
第22期	612,603,190	562,491,319	9,182	10	0.10
第23期	603,659,760	433,746,779	7,185	10	0.10
第24期	604,104,377	451,316,972	7,471	10	0.10
第25期	604,587,848	467,426,986	7,731	10	0.10
第26期	599,811,360	501,756,825	8,365	10	0.10

## 欧州バンクローン・オープン（為替ヘッジなし）

計算期	元 本 額	純資産総額	基 準 価 額	1 万口当たり分配金	
				金 額	分 配 率
	円	円	円	円	%
第 27 期	600,010,569	511,431,131	8,524	10	0.10
第 28 期	584,422,178	516,515,293	8,838	10	0.10
第 29 期	582,834,818	510,774,289	8,764	10	0.10
第 30 期	576,532,069	508,205,612	8,815	10	0.10
第 31 期	556,240,378	499,281,291	8,976	10	0.10
第 32 期	547,896,664	512,551,653	9,355	10	0.10
第 33 期	545,014,275	516,632,765	9,479	10	0.10
第 34 期	539,751,890	522,245,193	9,676	10	0.10
第 35 期	487,707,489	482,310,689	9,889	10	0.10
第 36 期	484,148,573	480,320,831	9,921	10	0.10
第 37 期	374,485,156	381,070,091	10,176	10	0.10
第 38 期	373,608,866	379,955,711	10,170	10	0.10
第 39 期	349,339,203	348,429,441	9,974	10	0.10
第 40 期	342,685,008	340,338,633	9,932	10	0.10
第 41 期	326,868,311	329,840,530	10,091	10	0.10
第 42 期	319,916,916	330,685,370	10,337	10	0.10
第 43 期	311,263,212	314,839,981	10,115	10	0.10
第 44 期	312,215,173	311,238,510	9,969	10	0.10
第 45 期	307,758,710	311,908,958	10,135	10	0.10
第 46 期	307,882,337	311,791,479	10,127	10	0.10
第 47 期	294,289,618	294,513,453	10,008	10	0.10
第 48 期	260,142,468	274,299,452	10,544	10	0.10
第 49 期	255,823,158	253,909,432	9,925	10	0.10
第 50 期	234,995,026	233,576,290	9,940	10	0.10

## ■ 分配金のお知らせ

1 万口当たり分配金（税引前）	第 49 期	第 50 期
		10円

※分配金は、分配後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は全額「普通分配金」となり課税されます。分配後の基準価額が個別元本を下回る場合は下回る部分が「元本払戻金（特別分配金）」となり非課税、残りの部分が「普通分配金」となります。

上記のほか、投資信託財産の計算に関する規則第58条第1項各号に該当する事項はありません。